

# まじらり

# 磐田人

自身、磐田、日本サッカー界のため、新たな道に立つ。

ジュビロ磐田の黄金時代を築いた一人。

## ジュビロといえば磐田で

### 磐田といえばジュビロ

### 相乗効果のある関係を

### これからも続けたい

## ジュビロ磐田アドバイザー

# 藤田俊哉さん

プロになる際、ジュビロ磐田を選んだ理由は？

僕の大学卒業とジュビロ磐田のJリーグ昇格が同時タイミングでした。だから、自分のプロ一年目とジュビロ磐田のプロ一年目、新しいスタートが一緒に切れるというのもありましたね。それと、同じ筑波大学先輩の中山雅史さんがいるクラブだったからっていうのもありますね。

ジュビロ磐田に所属した11年半を振り返ると？

プロ選手生活のほぼ全てがここにあるといってもいい

いくらいの時間を過ごしましたね。ジュビロ磐田の後、他のクラブにも在籍しましたが、キャリア、成績を考えれば、思い出がいっぱいあるし、素晴らしい時間を過ごさせてもらいました。

ジュビロ磐田のJリーグ昇格からの20年を振り返ると？

いろんな局面があつて、その一つ一つが歴史。良いも悪いも歴史であつて、全てが財産ですね。それと、この20年を迎える前は、ヤマハ発動機からの歴史があつてジュビロ磐田があるわけだから、僕たちはその

歴史も大事にして、次に繋げていかなくはないですね。僕らはJリーグという華やかな20年を過ごしてきたけど、ヤマハ発動機サッカー部の先輩方が築いた礎の基に僕らがジュビロ磐田としてサッカーをした。そういう繋がりというのを大事にしたいですね。

もし、サッカーをしていなかったら？

高校くらいまでは、学校の先生もいなくなって思っていました。いろいろやつてみたいって思う時期もあつたけど、サッカーを考える

と、それはほとんどゼロに近い可能性ですね。表現がいかどうかわからないけど、サッカーに全てを賭けてきたからね。

小学4年生から継続してサッカーをやれた理由は？

何よりサッカーが好きだったし、楽しかった。それに尽きますね。辛いとか苦しいとかは全くなかったです。やめたいと思つたこともないし。それと、周りの支えも大きいですね。まず、家族の支えには感謝するばかりですね。あと、これまで出会った多くの指導

者。彼らの情熱が僕を育ててくれました。

憧れるサッカー選手は？

ジーコ選手ですね。僕にとって本当にスーパースターだったし、憧れの存在でした。そのジーコ選手とプロになってから一緒にサッカーをすることができた。そして、監督になった日本代表チームに選ばれてプレーできた時は本当に嬉しかったですね。

磐田市のイメージは？

初めて磐田市に住んだときには、まだ磐田にマン

▶ VS FC 東京  
(2003年8月2日)  
▼ VS 横浜マリノス  
(2002年4月6日)



©JUBILO IWATA

◀▶▶ 5月23日の  
藤田さん送別試合



▶藤田さんの送別  
試合に集まった  
ジュビロスターズ  
▼市民賞特別賞  
受賞式の様子



シオンがあまりなかったみたいで。僕への入団の誘い文句は、「オートロックのマシオンができたから来て」でしたね。だから、当時に比べて発展しているイメージかな。それと、人がすごく温かいですね。どこに行ってもみんな声を掛けてくれて、すごく温かい応援を受けてきましたね。磐田市はすごく好きなまちですよ。

### これから指導者として海外で挑戦されるそうですが？

第二のサッカー人生への挑戦ですね。サッカーにはずっと関わっていたい。選

手としての挑戦後の関わりとして、自然な流れでした。海外で挑戦することで、国内の指導者と違った視点で日本サッカー界に貢献したいと思っています。

### 磐田市民賞特別賞受賞への感想をお願いします

本当に恐縮していますし、選んでもらえたことに心から感謝しています。これから磐田市がさらに発展していく中で、自分が何らかの関わり合いを持って、そこに協力できれば嬉しいですし、そうしていきたいと思っています。

市民の皆さんに一言  
サッカーを通して市民の皆さんに勇気と元気を届けられる存在がジュビロ磐田だと思っています。だから、磐田を代表する団体の一つとして、常に輝いていたいと思っています。ジュビロといえば磐田で、磐田といえどジュビロ。お互いに力を与えることができる、そういう相乗効果のある関係性がこれからもずっと続くことを願います。



## 藤田 俊哉さん Toshiya Fujita

### Profile プロフィール



1971年10月4日生。静岡県清水区出身。1994年にジュビロ磐田に入団。ジュビロ磐田在籍時にステージ優勝6回、年間優勝3回、アジアクラブ選手権優勝1回。個人としてはJリーグベストイレブンに3度選出、2001年JリーグMVPを受賞。海外（オランダのFCユトレヒト）でのプレーも経験。日本代表として国際Aマッチに24試合出場3得点を記録。プロ選手として、通算614試合出場、122得点（リーグ戦は512試合出場、107得点）。2012年に現役引退。今後、オランダへ渡り、指導者への挑戦を表明。